

研究課題番号	4G-2102
研究課題名	環境アセスメントへの活用を目指した鳥類およびコウモリ類の飛翔を識別するレーダ画像解析システムの開発
研究実施期間	2021 年度～2023 年度
研究機関名	新潟大学
研究代表者名	関島恒夫

1. 委員の指摘及び提言概要

洋上風力発電の環境アセスメントに将来活用できる技術であり、その開発は極めて重要な課題と考える。トラッキング手法の開発、鳥類とコウモリ類の判別、鳥類の移動軌跡の種・目レベルの判別や衝突数推定など、レーダー情報をアセスに用いる道筋が示されたことは目標を上回る重要な成果と評価できる。鳥類については十分な成果が出たが、コウモリ関係の成果が十分には出ていないのは残念である。風力発電施設はバードストライクなどによる生物多様性への深刻な影響があり、この成果が活用されることを期待したい。事業アセスや計画アセスを想定すると、調査実施に際しての簡便性や経済性が求められる他、場の衝突ポテンシャルの予測にまで発展させる必要があり、更なる検討が望まれる。

2. 採点結果

評価ランク：A